

道路管理に関するアウトカム指標のH17年度実績報告

はじめに

NEXCO西日本は、高速道路の管理に関して、安全・安心な高速道路を確保するとともに、お客様により一層の快適を提供することを目指しております。

このため、これまでの予算に基づく事業量達成評価でなく、事業の実施により発生する効果や成果(アウトカム)を表す指標を導入し、効率的・効果的な事業運営に努めてまいります。

既に3月に「平成18営業年度事業計画」でアウトカム指標を用いた事業目標を公表しておりますが、この度、平成17年度の実績値がまとまりましたので以下のとおりお知らせします。

今後も、お客様の視点に立ったわかり易い客観的指標を導入し、適正な管理水準とサービスレベルを常に検証し、安全・安心・快適を実感していただけるよう重点投資を図ります。

区分	アウトカム指標	定義	単位	16年度 (実績値)	17年度 (実績値)
安全・安心	死傷事故率 ¹	走行車両1億台キロあたりの死傷事故件数 ²	件/億台 ^千	10.7	9.6
	舗装保全率	舗装路面の健全度 ³ を表す車線の延長比率	%	78	82
	橋脚補強完了率	古い基準を適用した橋梁で、耐震補強を必要とする橋脚のうち、補強が完了している橋脚基数の割合	%	82	85
快適	ETC利用率	ETC導入済み料金所におけるETC利用者の割合	%	33.2	53
	路上工事による車線規制時間	道路1kmあたりの路上作業に伴う年間の交通規制時間	時間/(km・年)	80	81
定時性	本線渋滞損失時間	本線渋滞 ⁴ が発生することによる利用者の損失時間 ⁵	千台・時間/年	3,324	3,149
	利用時間確保率	道路が利用可能な時間 ⁶ の比率	%	99.7	99.2
総合	顧客満足度	CS調査等で把握する維持管理に関するお客様の満足度	5段階評価	3.5	3.5

注) 全国路線網を対象

- 1 死傷事故率は、1月～12月の実績値を示しています。
- 2 会社が管理する道路のうち一部の道路は除かれています。
- 3 舗装の健全度とは、概ね5年以内には舗装補修を必要としない状態をいいます。
- 4 高速道路では、時速40km以下で低速走行あるいは停止・発進を繰り返す車が1km以上かつ15分以上継続した状態をいいます。
- 5 損失時間は、渋滞通過のために生じた遅れ時間を、法定速度と渋滞時の平均走行速度（25km/h）の差で算定した時間と影響台数で積算した年間総損出時間をいいます。
- 6 降雨、降雪に因る通行止め（災害、地震等を除く）と、事故や工事による通行止めを除く、通行可能な時間をいいます。